

令和 元年12月定例会(第4回) - 12月10日

小中学校におけるコミュニティ・スクールについて

◆中島章二(10番) [登壇]

コミュニティ・スクールは、学校と地域住民等が力を合わせ学校の運営に取り組むことが可能となる、地域とともにある学校への転換を図るための有効な仕組みであり、このコミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めることができると言われております。

平成30年4月1日現在、学校運営協議会を設置しコミュニティ・スクールとなった学校は、全国の公立学校のうち5,432校、14.7%となっています。日田市においても、昨年度からコミュニティ・スクールとなっている学校が幾つかありますが、日田市におけるコミュニティ・スクールの意義と現状についてお聞かせください。また、昨年度コミュニティ・スクールとなった学校の成果と課題についてお聞かせください。

◎教育長(三笥眞治郎君)小中学校におけるコミュニティ・スクールについてお答えします。

初めに、本市におけるコミュニティ・スクールの意義と現状についてでございます。

コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置した学校のことをあらわすものでございます。この学校運営協議会の導入に至る経過につきましては、平成26年の国の教育再生実行会議における子供や学校の抱える課題の解決、未来を担う子供たちの豊かな成長のためには、社会総がかりでの教育の実現が不可欠との提言や、翌平成27年の中央教育審議会における全ての公立学校において、コミュニティ・スクールを目指すべきとの答申に基づき、平成29年に地方教育行政の組織及び運営に関する法律が一部改正されたことにより、設置が努力義務化されたものでございます。市教委といたしましては、このような法の改正を受け、ふるさとへの誇りと夢を育む学校づくりを理念とし、キャリア教育、安全管理、学習支援、咸宜園教育、防災教育、ふるさと教育という6つの柱を掲げ、平成28年度から三芳小学校、津江小学校、津江中学校、大山小学校、大山中学校の5校をモデル校に指定したことを皮切りに、2年間の準備期間を経て、平成30年度4月からコミュニティ・スクールとして活動を始めたところでございます。そして、今年度4月からは、新たに5校が加わり、残りの20校につきましては、現在、令和2年度4月からコミュニティ・スクールとしてスタートするための準備を進めているところでございます。

次に、平成30年度にコミュニティ・スクールとなった学校の成果と課題についてでございます。平成30年度にコミュニティ・スクールとなった5校の取り組み事例について申し上げますと、防災教育、安全管理の中で、学校と各自治会による校区安全マップの作成や、登校の見守りを兼ねた挨拶運動の拡充及び地域の危険箇所の情報共有体制の充実などについての取り組みがございました。このような取り組みによりまして、安全管理の面からは子供たちが地域の方に大きな声で挨拶するようになったことや、地域の方が積極的に登下校の見守りに立っていただくようになったこと、そして防災教育の面からは、地域と連携した児童引き渡し訓練が実施できたことなどが成果としてあらわれてきていると捉えております。

このような防災教育、安全管理の取り組みにつきましては、従来、育友会や地域との結びつきの中で取り組まれてきていたこともあり、コミュニティ・スクールとしても成果があらわれておりますが、一方で、学習支援やキャリア教育につきましては、従来、学校が中心となって取り組んできた内容でもありますことから、保護者や地域の方とのかかわり方や人材の確保等を含めて協議を深めていくことが課題であると捉えております。

このため、市教委としましては、以上申し上げました成果と課題を踏まえながら、先行を実施した学校の実践例の共有や、先進地研修などの機会を設けることにより、各地域が培ってきた育友会や地域との協力体制を基盤とする地域の特色を生かしたコミュニティ・スクールの取り組みを推進してまいりたいと考えております。

◆10番(中島章二君) コミュニティ・スクール、実施していく中で、日田市は公民館事業、社会教育事業、とても活発に活動しているところだと思っておりますが、コミュニティ・スクールと社会教育事業との協働については、教育委員会としてどうお考えでしょうか。

P.84

◎教育長(三笥眞治郎君) 現在、コミュニティ・スクールの学校運営協議会の中に、公民館長さんに委員として入っていただいております。したがって、学校運営、校長が作成する学校運営方針等を館長も御理解いただけますし、また逆に、公民館の事業も学校で理解できるというようなことがまず上げられるかと思っております。

実際に、公民館で小学校児童を対象とした1泊2日の避難体験生活であるとか、夏休み学習教室等、公民館事業として行っております。こういったものに学校のほうも非常に協力できる部分がたくさんできてくるんじゃないかというふうに思っておるところでございますし、また逆に公民館から学校へ協力できる部分もふえてくるんじゃないかというふうに考えているところでございます。

P.84

◆10番(中島章二君) 不登校の問題、いじめ等、それから自然災害等、子供たちを取り巻く大きな社会の変化があるところがございますが、子供たちを犯罪や自死、災害等から守るためにも、こういったコミュニティ・スクールを有効に実働させていくことが、日田市教育大綱の基本理念でもあります「未来を切り開き、ふるさとを愛する人づくり」につながり、地域のつながりづくり、そしてまちづくりへ広がっていくものと思っております。

子供を中心に、子供を育てることから、地域づくりへと発展させていただきたいと思っております。